



G 7 富山・金沢教育大臣会合エクスカーション（場所：角間キャンパス）



金沢大学 ステークホルダー協議会 金沢大学 近況報告

金沢大学長 和田 隆志
2025年10月31日

金沢大学未来ビジョン「志」に基づく社会貢献



未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組

- ① 令和6年能登半島地震に伴う創造的復興に向けた取組
- ② 研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充
- ③ 教育 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ④ 経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

金沢大学未来ビジョン「志」に基づく社会貢献

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY



北辰
(北極星)



金沢大学未来ビジョン

志

揮毫：和田隆志

未来知による
社会貢献

最先端の研究成果を
社会へ



KANAZAWA
University

人間力

未来を切り拓く
タフな人材育成

雑談の
チカラ

異分野の出会いの
場を創出

基本理念 地域と世界に開かれた教育重視の研究大学

揺るぎない
未来ビジョン 金沢大学の「志」
オール金沢大学で「未来知」により社会に貢献する

3つの
あるべき姿 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点群の拡充

国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

最重点
ミッション 大学院の飛躍的な機能強化

世界的視座による優位性・独自性のある研究分野の育成・先鋭化

全学を挙げての実証研究の展開

地域を紡ぐ
世界へ繋ぐ

能登の創造的復興に向けて

「志」Version Up 2024版 2024.9 公表

5

令和6年能登半島地震に伴う創造的復興に向けた取組

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY



能登里山里海未来創造センター

Noto Resilience and Revitalization Center

2024.1.30設置

理念

金沢大学の英知を集結することにより、「地震・災害に強く安全・安心で、だれもが住みよい、文化薫る地域・まちづくりとひとづくり」に寄与し、令和6年能登半島地震の被災地の復興に資すること

学生のボランティア参加

延べ2,200名以上

学術調査活動の発信

延べ約700名参加

発災1か月後から1年後までに、計4回の報告会を開催

能登地域サテライト拠点

9拠点

うち4拠点は
震災後に新規整備

いずれも2025年8月末時点

日経地方創成フォーラム in 金沢

開催：2025年9月20日（土）
場所：角間キャンパス

アーカイブ配信



ボランティア

教育・
ひとづくり



Planning

里山里海創造
WG

医療支援



KUD
学術調査



KEYPAT
こころのケア



6



「オール金沢大学」の体制で、震災からの復旧・復興及び支援に全力を尽くします



「知」と「ひと」が、
未来を拓く。

未来創造部門

Planning



ひとづくり部門

Education



「防災・復興人材特別プログラム」

防災・復興に関する共通教育科目、専門教育科目の履修で、防災・復興に活躍できる力を身につける

豪雨災害の被災者宅での
支援活動を行う学生ら
(2024.9.29 輪島市内にて)



100名を超える学生が履修した。

まち・なりわいづくり部門

Research



「3つのL」を守り生み出す
実証研究

文理医融合の研究者チームと自治体や産業界が
協調・共創して実施する3つの実証研究

Lives

能登における新たな医療
システムの構築を目指す

Life

エネルギー自給自足の
「オフグリッド」
住宅の実装に向けた
実証実験

Living

里山里海の再評価と新たな
価値創造、高付加価値産業
の展開を目指す



コミュニティプラントの実証イメージ

金沢大学未来ビジョン「志」に基づく社会貢献



未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組

- ① 令和6年能登半島地震に伴う創造的復興に向けた取組
- ② 研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充
- ③ 教育 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ④ 経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

② 研究

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充



2023.12
採択

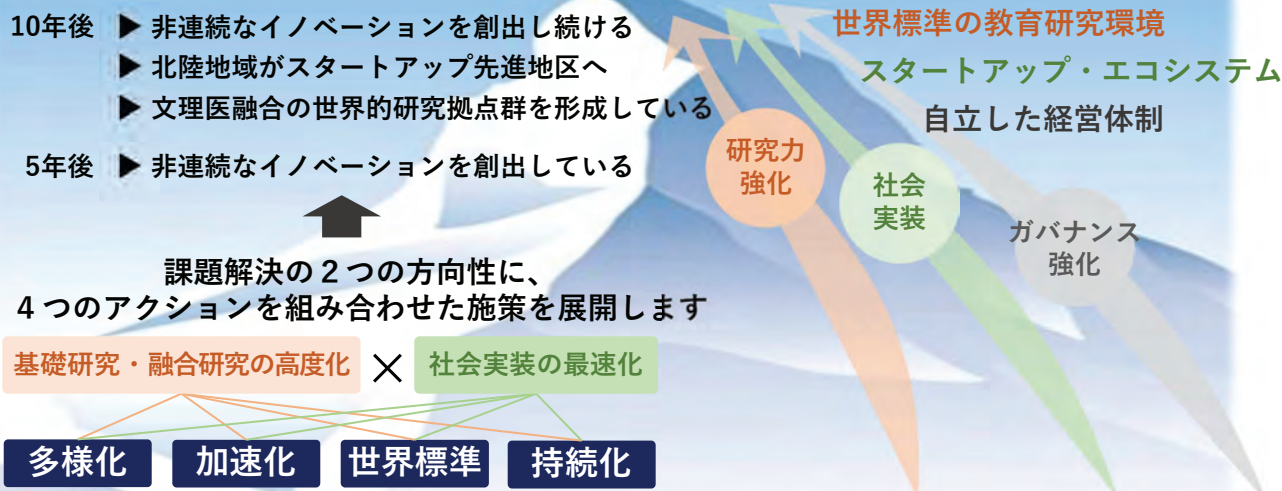
地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）を活用し、
10年後のビジョンからのバックキャストにより、アクションを実行します

文理医融合による非連続なイノベーションを創出し続ける世界的拠点

金沢大学の未来ビジョン



オール金沢大学で「未来知」により
社会に貢献する



9

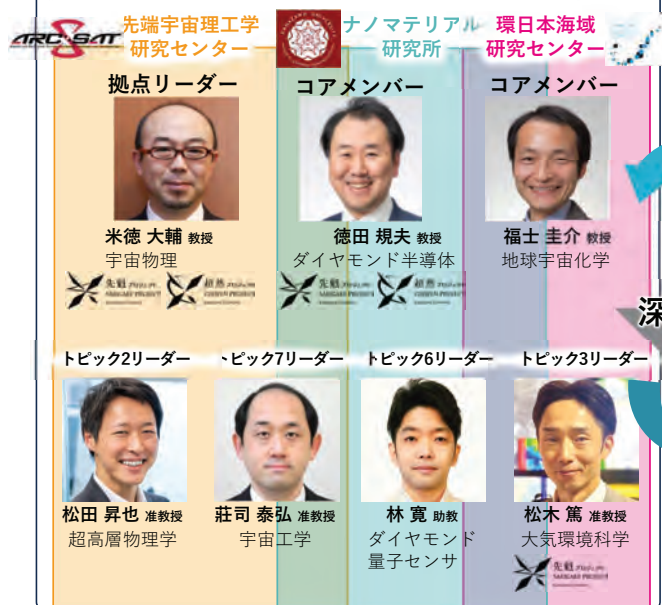
② 研究

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充



文理医融合研究による非連続イノベーションを創出し続ける
世界的研究拠点の創出に取り組んでいます

宇宙理工学研究拠点：一番星の発見へ



ライフサイエンス系拠点：“生きる”の融合科学



10

② 研究

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充



2023.12 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）を採択
活用し、10年後のビジョンの実現を目指します



10年後のビジョン 文理医融合による非連続なイノベーションを創出し続ける世界的研究拠点



2023.4 新設
➢ 研究シーズの社会実装へ向けた育成
➢ 新しい価値の創造



- 新しい価値の創造
- 5F | スタートアップの場
 - 4F | 実証研究の場
 - 3F | 共創の場
 - 1・2F | 融合研究の場



2025.6 竣工イベント

11

② 研究

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充



スタートアップ支援体制整備による成果が出ています

シーズ発掘から事業化まで一気通貫の支援体制整備によるスタートアップ創出の加速

未来社会課題設定
ショーケース展開
PoC獲得

スタートアップ創出
プラットフォーム
(GAPファンド等)

ビジョンインキュベイト
他VCとの連携

金沢大学認定
ベンチャー
(スタートアップ)

2024年度 GAPファンド

2025年度 GAPファンド

2024-2026年度 VC併走大型GAPファンド

ナノ生命科学研究所
垂山 力成 教授
高品質エクソソーム製剤の
大量製造・品質管理技術の
確立

医薬保健学総合研究科
渡部 良広 特任教授
抗体エピソードプロファイリング
技術を基盤としたアレルギー
創薬プラットフォームの
構築

① 株ムービーズ '24/6/30 設立

高度モビリティ研究所 菅沼教授、米陀准教授
全天候型の自動運転の実現を目指す

② X Cube Solutions株 '25/2/25 設立

理工研究域 高橋教授
「再生可能多樹種植物由来
プラスチックによる資源循環社会
共創拠点」の研究を社会実装

③ 株FMK Solutions '25/4/9 設立

AI・DX・データ解析
を駆使し、インフラ
メンテナンスをはじ
めとした社会課題の
解決を目指す

④ 能登アクアファーム '25/2/14 設立

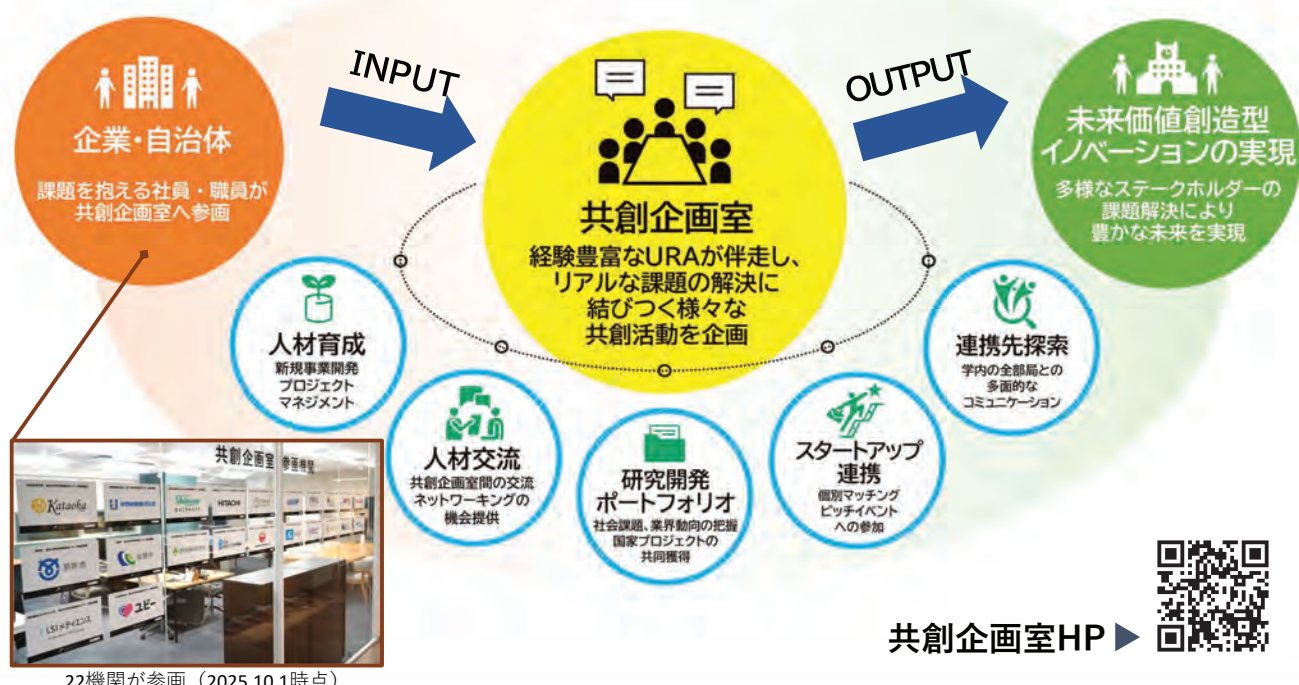
環日本海地域環境研究センター 鈴木
教授による海洋深層水の研究成果
を活かし、持続可能なエビ苗生産
による新たな産業創出を目指す

12

② 研究

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充

企業・自治体の皆様が抱える課題の解決に向けて、大学が共創活動を行います



22機関が参画 (2025.10.1時点)

13

② 研究

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充

企業・自治体の皆様が抱える課題の解決に向けて、大学が共創活動を行います



14



未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組

- ① 令和6年能登半島地震に伴う創造的復興に向けた取組
- ② 研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充
- ③ 教育 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ④ 経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

15

③ 教育

国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出



金沢大学は
「採用を増やしたい大学ランキング」
全国1位に選ばれました!

卒業生の活躍度が分かる
**新・就職力
ランキング
2025-2026**

卒業生の活躍度が分かる新・就職力ランキングは、企業の人事担当者が採用した社員の資質や姿勢から、出身大学を評価した結果を基に作成しています。ランキング上位の大学ほど、企業で活躍する人材を輩出しているといえます。総合ランキング、側面別ランキング、地域別ランキングなどを紹介します。

順位	分類	大学名
1位	国	金沢大学
2位	国	千葉大学
2位	国	信州大学
4位	国	筑波大学
5位	国	岩手大学
6位	国	東京科学大学
7位	国	神戸大学
7位	国	東北大学
7位	私	東北工業大学
10位	国	新潟大学
11位	国	一橋大学
11位	国	香川大学
13位	国	横浜国立大学
13位	国	愛媛大学
15位	国	北海道大学

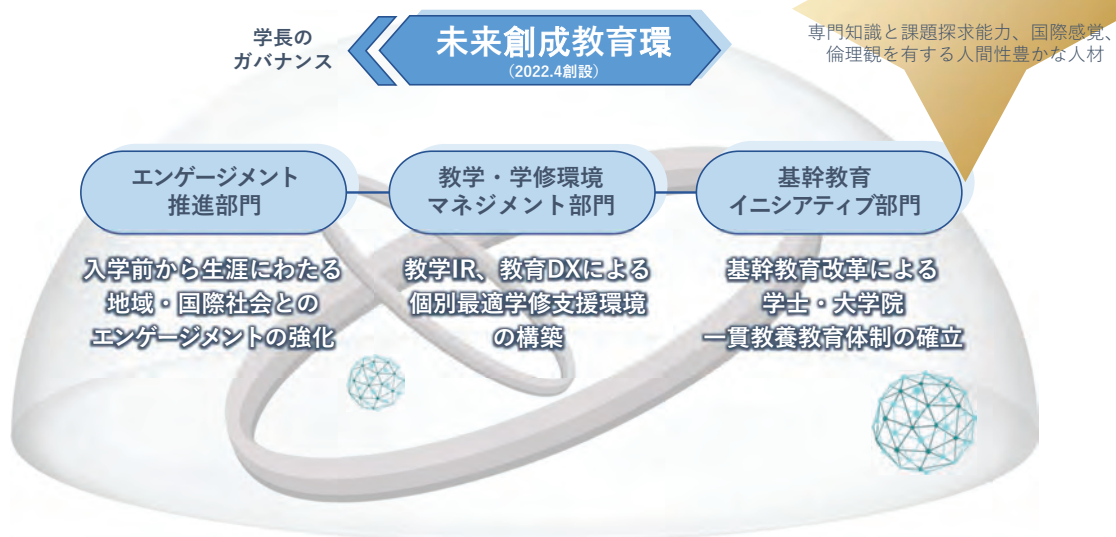
日本経済新聞社と日経HRが企業人事に対して行った調査によると、企業に採用実績のある大学の中で、「もっと採用を増やしたい大学」は、金沢大学が1位に選ばれました。 本学は2021年度に文系と理系の両方を学ぶ「融合学域」の新設、課題解決を担う人材の育成が評価されました。

16



学修者本位の教育へと転換し、自ら学び、自ら育む教育環境を構築しています

「金沢大学ブランド人材」の輩出



17



金沢大学＜グローバル＞スタンダード（KUGS）を兼ね備えた
「金沢大学ブランド人材」を輩出することを目指しています

学士課程KUGS

1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む
6. 新しい社会を生きる



2021新設
STEAM教育の
拡充

大学院課程KUGS

1. グローバルマインドと明確な倫理的思考
2. 交渉力・統率力・実践力
3. 多様な「知」を融合し、新たな価値を創出する総合知
4. トランスファラブルスキル



18

③ 教育

国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出



社会の変化に対応した教育組織改革を進めています



2022.4 融合学域観光デザイン学類 新設

2023.2 教学マネジメントの強化 - 全学域・研究科を対象に「3つのポリシーの再整備」-

2023.4 融合学域スマート創成科学類 新設

融合学域 3学類

人間社会学域 6学類

理工学域 7学類

医薬保健学域 4学類

2023.6採択 「令和6年度魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」

2024年度 融合学域観光デザイン学類 定員20名 → 55名 (35名増)

2023.7採択 「令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」

2024年度 融合学域スマート創成科学類 定員20名 → 55名 (35名増)

理工学域電子情報通信学類 定員76名 → 116名 (40名増)

2023.7決定

2024年度入学者選抜試験 (理工学域) 女子枠特別入試 導入 (募集枠34名)

理工学域 女子志願者7.5ポイント上昇 全学女子学生率40.6%

2024年度実績 (2023年度比)

2024年度実績 (過去最高率)

2025年度

新学術創成研究科

総合知創出科学専攻 設置 (融合学域に接続する新たな大学院)

2025年度

KUGS特別入試 防災・復興人材選抜



19

③ 教育

国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出



社会の変化に対応した入試改革を進めています

一般選抜

前期入試

一括入試

(文系・理系)

レイト・スペシャリゼーション

Student's Voice



フロンティア工学類
(理系一括入試)

菅原 乙泉

自分のしたいことを見つかることができます

私が一括入試を選んだ理由は、一年間を通して自分を見つめなおすことができると思ったからです。
(中略) 先輩、先生、友人とコミュニケーションをとれる場も設けられているのでとても相談のしやすい環境が整っています。

特別選抜

総合型選抜Ⅰ・Ⅱ

学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ

KUGS
特別入試

デジタル人材選抜Ⅱ 2024新設

防災・復興人材選抜Ⅱ 2025新設

英語総合選抜Ⅱ

超然
特別入試

A-lympiad選抜Ⅰ・Ⅱ

超然文学選抜

女子枠特別入試 2024新設

医学類・高大院接続入試 2025新設

薬学類・高大院接続入試

在外留学生推薦入試

私費外国人留学生入試

国際バカロレア入試

帰国生徒選抜

社会人選抜

20

2025.9.16
採択

多面的な連携が生み出す「知」の共創と往還による新価値創造人材の育成・輩出拠点

【10年後の将来像】

国内外の優秀な学生に選ばれ、新たな価値を創造する博士人材を育成し、我が国と世界へ持続的に輩出する大学

【大学の理念と基本的方向性】

- ・「未来知」による社会への貢献
- ・教育と研究をつなぐ博士人材育成
- ・北陸地域4国立大学の連携基盤と波及
(石川県・富山県・福井県)

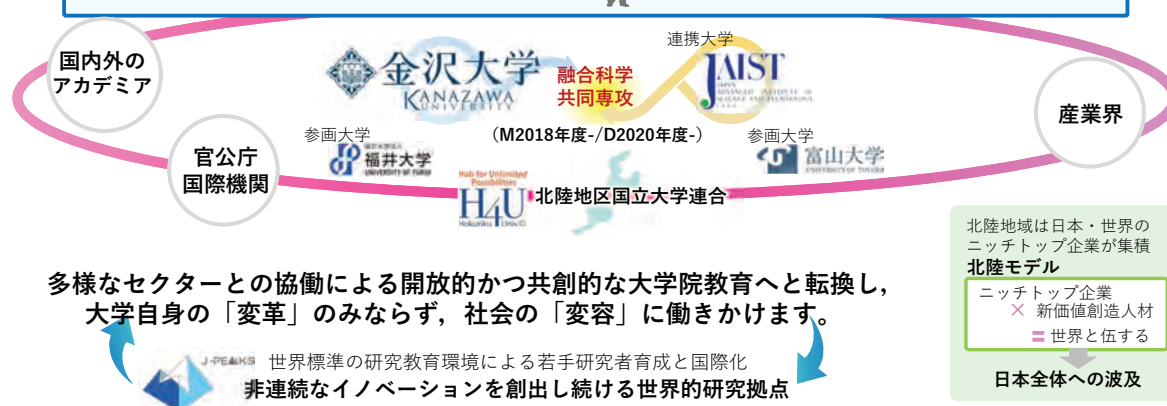
【大学院改革のビジョン】

より開かれた環境のもと、多様なセクターとの協働により博士人材を育成する大学院教育への転換



【人材像】

未来への新たな価値を創造し、社会の持続的な発展を牽引する博士人材「新価値創造人材」



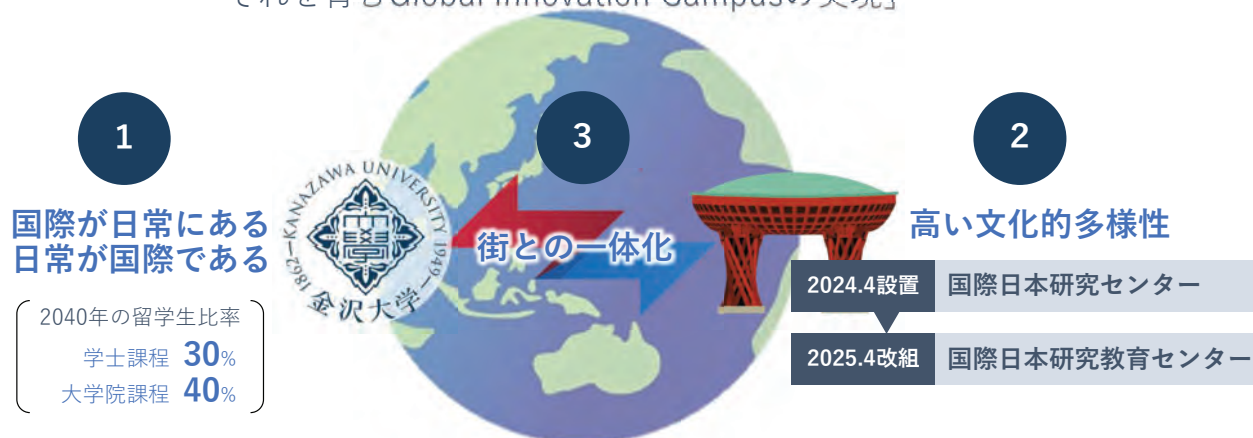
21

外国人留学生の受入拡大と国際交流によるグローバル人材の育成を推進しています

－分野横断型の多層的な多文化共修教育とGlobal Innovation Campus－

2024.11採択 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

「多層型多文化共修プログラムによる価値創造人材の育成とそれを育むGlobal Innovation Campusの実現」



22



分野や目的に応じたリカレント教育プログラムを提供しています

職業実践力育成プログラム (BP)



能登の里山里海 SDGsマスター プログラム

「能登の里山里海」を起点に、①地域の課題を客観的に分析し、②新たな視点から価値を創造し、③試行・実践を通じたプランの具体化への支援に取り組みます。



大規模データ 技術者育成 プログラム

北陸地区の最先端設備でデータを扱い、3ヶ月コースで今後必要とされる「研究支援者・開発支援技術者」を目指します。



金沢大学リスクリングプログラム

-正課の授業科目によるリスクリングプログラム-



知的財産・ リスク管理 プログラム

知的財産に関する法と実務の基本を学ぶことを通じて、企業や創作者が有する正当な権利と利益を守り、地域の産業や文化の振興に貢献できる人材を養成します。



文理融合 データサイエンス プログラム

データサイエンスの基礎となる数的基礎及び統計理論を学ぶとともに、実践的な学修により各種統計手法を取得し、実社会で活躍することを目指します。



23

金沢大学未来ビジョン「志」に基づく社会貢献



未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組

- ① 令和6年能登半島地震に伴う創造的復興に向けた取組
- ② 研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の拡充
- ③ 教育 国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ④ 経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

24

④ 経営

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現



学生・教職員が一丸となって
各界の皆様との対話を通じて、社会課題の解決を目指します

交流スペースの創出

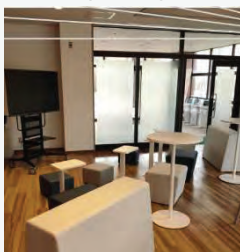
職員のプロジェクトチーム（MOT Lovely Project）
の提案で中福利施設に整備



1F ナカフクリ食堂



2F OKUOKU



膝を突き合わせて語り合う交流スペース

未来デザインプラクティス



2025年は能登町で
企画発表会の実施！
約60名の参加



「自分と未来は変えられる！」

未来をデザインし企画・実践、内容を
コミュニケーションできる能力の醸成

雑談のチカラ



50回開催
（～2025.6）



「偶然の出会いを必然に！」

学生・教職員、地域・社会の方々の出会い
「雑談」から新たな発見・アイデアが生まれる

25

④ 経営

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現



一人一人の構成員が、多様性を互いに認め合い、
志高く自らの能力を最大限に発揮できる環境を実現します。

2022.4
設置

ダイバーシティ推進機構



女子学生・女性研究者等支援



外国人留学生／研究者・LGBTQ+支援



育児・介護支援



女子中高生支援



障がい者支援

26

④ 経営

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現



歴史的にも学術的にも価値の高い資料の保存・公開に取り組んでいます

— Hot Topics! — 2025年1月
デジタル・アーカイブ (KUDA) の開始

- ・ 金沢大学で所蔵する貴重資料等を電子的手段により蓄積・保存
- ・ 学内外に公開するためのデジタル・アーカイブ



有形文化財に5件の登録 (2024.3)



・ 医学類旧書庫 (北側)
(旧制金沢医科大学附属図書館書庫)



・ 医学類西面南旧正門及び煉瓦塀
(旧制金沢医学専門学校) など

医学部記念館 所蔵



キンストレーキ
(金沢市指定文化財)



解体新書



ドドネウス 和蘭草木誌

城内キャンパスVR

・ 世界的に珍しい城内キャンパスの
VR (2D) 体験



<体験場所>

- ・ (11/1) 自然科学本館エントランス
- ・ (~11/5) 金沢城公園 河北門内
- ・ (R8年度) 一般公開予定

27

④ 経営

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現



効果的、効率的な広報を実行し、本学の存在意義・価値・魅力を
ステークホルダーに届け、金沢大学ブランドの向上を目指します

・ 英国科学誌「Nature」

14 March 2024号
Health sciences特集



20 March 2025号
Energy 特集



「Newsweek」
OCTOBER 11, 2024号



「The WORLD FOLIO」
MARCH 31, 2025号 掲載



「TIME」Asia Edition,
December 26/2022 & January 9/2023号,
Online版12月26日掲載



2025.2
文部科学省にて
文部科学省職員研修を
行った和田学長

2023.11
経団連役員に本学の
取組の紹介



オリジナル発信

「未来知ジャーナル」

MIRAIをつくる金沢大学研究情報サイト
MIRAICHI journal



志を持つ者 未来を拓く
研究ニュース 輝く学生



<https://www.kanazawa-u.ac.jp/research/miraichi/>

オリジナルグッズ

オリジナル日本酒「志」 2025.6

農口尚彦研究所と学生の
コラボレーションにより誕生



揮毫：和田隆志

28

④ 経営

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現



金沢大学基金を活用し、学生と社会の未来へ貢献する活動を行っています



○ 2025.1「金沢大学能登復興未来創造基金」へ

- 被災地の復興支援により注力するため



○ 2025.10「Giving Campaign 2025」

- 公認課外活動団体への支援

18,342名の方から応援いただき、国公私立大学110大学中
応援数は全国第2位、寄附額は全国第4位となりました！

たくさんの応援をいただき
ありがとうございました！



○ 2025.10「ふるさと納税（金沢市）」

- 金沢市のふるさと納税で金沢大学への支援



「ふるさとチョイス」の
画面(左)にある「寄付をする」
ボタンから御入力くだ
さい

「お礼の品」不要の
寄付をする
「寄付をする」ボタン



金沢市のふるさと納税を運営する
「ふるさとチョイス」のWebサイト
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/17201>

○ 2024.6「iDonate」導入

- 研究者個人を指定した寄附システム
- いつでもどこでもPC、スマホから寄附可能



<https://www.idonate-all.jp/university/view/105002>

本基金は大学の経営基盤を支える大きな柱となっています

29

金沢大学未来ビジョン「志」に基づく社会貢献



基本理念「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」



角間キャンパス



宝町・鶴間キャンパス

「未来知による社会貢献の実現」に向けて

「オール金沢大学」で取り組んでいきます

人が輝く金沢大学

30